

# 介護福祉学の到達点と将来像（仮題）

— 実践知と専門性に基づく質の確保

日本介護福祉学会 編

深刻な介護の担い手不足の中で、政府はIT技術と外国人介護職員の導入を推進し、政策も実践も転換しつつある。つまり、「介護福祉の質」の確保のために、「介護福祉学」は新たな課題に応えなければならない状況にあるといえる。

そこで、日本介護福祉学会によって蓄積された「実践知」ならびに「介護福祉の専門性」に関する知見を踏まえ、科学的根拠のあるデータを分析する事で具体的な解決策の提示を試みたのが本書である。「介護福祉学」の到達点を明らかにするとともに、介護福祉の将来像を展望した一冊。

A5判並製カバー300頁(予定)、近日決定予定、予価3,000円(税別)、ISBN 978-4-623-09828-6

まえがき

## 第1章 理論・制度・歴史

- 1 介護福祉学の理論のあゆみと到達点 (太田貞司)
- 2 介護福祉学の現状と課題 (畑 亮輔)  
—学会誌『介護福祉学』論壇「介護福祉学の構築に向けて」を通じた検討
- 3 介護福祉学と〈自立支援〉理念のあゆみと展望 (上之園佳子)
- 4 社会参加を支援する介護福祉実践の展望 (堀 崇樹)

## 第2章 介護運営管理

- 1 介護保険が変えた介護運営管理 (海老澤圭視)  
—契約制度は措置制度を超えたか
- 2 地域介護のサービスと担い手の確保 (坂本毅啓)
- 3 職員の就労継続をはかる介護運営管理 (内田和宏)
- 4 高齢者施設とコミュニティ意識 (小野信夫・井尻隆夫)  
—パンデミックを乗り越えて

## 第3章 高齢者・障害(児)者への介護

- 1 高齢者・障害(児)者への介護の理念と変遷 (本名 靖)
- 2 障害者の就労支援と介護福祉職への期待 (水谷なおみ)
- 3 障害のある人の高齢化と介護 (木村あい)
- 4 認知症の介護 (堀江竜弥)

## 第4章 家族介護・在宅介護への支援

- 1 家族介護・在宅介護の支援施策は充実してきたか (新井康友)
- 2 頭在化してきた介護のかたちと家族支援 (午頭潤子)

- 3 家族介護者へのソーシャルサポート (杉原久仁子)
- 4 今後の家族介護施策に求められること (武田卓也)

## 第5章 生活支援技術

- 1 介護技術から生活支援技術への変遷 (吉藤 郁)
- 2 介護福祉理念と生活支援技術実践 (二瓶さやか)
- 3 尊厳の保持・意思決定支援・自立支援とICT (古川和稔)
- 4 生活支援技術と介護過程の展開 (及川ゆり子)

## 第6章 介護福祉教育・人材育成

- 1 介護福祉士養成の現在地と養成カリキュラム再考への期待 (柘崎京子)
- 2 外国人介護人材の受入れ状況と人材育成の課題 (伊藤優子)
- 3 介護福祉職のキャリアデザインと人材育成の展望 (野田由佳里)
- 4 実践現場における人材育成 (藤江慎二)  
—介護職チームのケアの質向上をもとにした介護職の育成

## 第7章 災害・介護福祉

- 1 災害時における介護福祉の対応課題 (鈴木俊文)
- 2 災害対応と介護福祉施設 (早坂聡久)
- 3 避難所での災害支援活動と介護福祉実践 (八木裕子)
- 4 地域と災害・介護福祉 (増田和高)

あとがき—終わりのない物語

索引

目次は2024年8月現在のものです

お問い合わせ先: 株式会社ミネルヴァ書房編集部 音田 潔  
TEL:075-581-0661/FAX:075-581-8379  
e-mail:ed3@minervashobo.co.jp